

(宛先)川 崎 市 長

地域子育て支援センター名	地域子育て支援センター ろば
実施場所(住所)	川崎区桜本1-5-6
法人(団体)名	社会福祉法人 青丘社
代 表 者 名	裴 重 度

地域子育て支援センター事業実施報告書

川崎市地域子育て支援センター事業実施要綱第13条第1項に基づき、平成 28 年度の事業実施状況について、次のとおり報告します。

1 利用者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
大 人	71人	77人	114人	91人	68人	87人	106人	88人	93人	108人	102人	94人	1,099人
子ども	75人	82人	120人	107人	81人	94人	121人	97人	120人	123人	112人	118人	1,250人
合 計	146人	159人	234人	198人	149人	181人	227人	185人	213人	231人	214人	212人	2,349人

2 事業報告

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進について

<p>具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全で清潔感のある遊び場空間を提供できるよう努めた。どのような配置にしたら、保護者が話をしながら子どもたちを見守る事ができるか考慮し模様替えを実施。 ・交流を深めるために、月替わりの様々なプログラムを企画。ふれあい館を利用する外国人ママや、地域女性連絡協議会の地域に住む先輩お母さんたちが講師の「料理講座」で多文化理解や世代間交流を促進。ミニ遠足などは人気のプログラムで、親子同士とても良い交流の機会となっている。 ・わんだーらんど、すまいるはーと、GGTなどのママ達のサークル活動をサポート。

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

① 相談実績

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4・5歳児	その他	合 計	年間延 実施日数	
来 所	55人	43人	40人	29人	35人		202人		154日
電話等	6人	0人	0人	3人	4人		13人		
合 計	61人	43人	40人	32人	39人	0人	215人		

② 相談内容・対応等

<p>具体的な内容</p> <p>お子さんの発達に不安のある家族を「たじま家庭支援センター」と情報共有し、入所へつなげた。これからどこの幼稚園へ入園させるか迷っている家庭には、アドバイスをしたり幼稚園児の子をもつ母を紹介したりした。外国につながる家庭で、保育園の入所を希望している家庭には、地域支援担当の保健師と、ふれあい館と連携し通訳派遣を行った。また、行政や入園入学に関する書類の記入支援や翻訳の手続き、面談などの通訳派遣は継続的に行っている。</p>
--

(3) 地域の子育て関連情報の提供

<p>具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎区周辺の子育て情報を収集し、掲示板や棚に最新のチラシやパンフレットを掲示。 ・川崎区内の地域子育て支援センターのお便りを、自由に閲覧できるようなファイルを設置。 ・毎月一回「ろばだより」を発行。 ・川崎市の感染症情報の掲示。 ・同法人の保育園で行われる、人形劇・バザー・一時保育などの情報提供。 ・外国につながる家族のために、多言語のチラシやパンフレットを設置。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

具体的な内容 ＜毎月のプログラム＞ ・いっしょにつくろう ・小麦粉ねんど遊び ・おたんじょう会 ・ぴよぴよタイム ・おもちゃのひろば「木育」 ＜季節のプログラム＞ ・ミニ遠足 ・水遊び ・もちつき ・クリスマス会 ・焼きも会 ・流しそうめん ＜お楽しみプログラム＞ ・リンパマッサージ ・ベビーマッサージ ・親子ヨガ ・野菜スタンプ「エコバッグ作り」 ・キッチンろば ・缶バッジ作り ＜桜本保育園との連携プログラム＞ ・離乳食講座 ・子どもの食講座 ・ぴよぴよタイム(読み聞かせ、軍手・エプロンシアターのコーナー)

(5) その他(1)から(4)以外で実施した事業

区役所等関係機関との連携した事業・出張支援等(事業名・内容・参加者数等) ◆9月3日(土) 川崎区子育てフェスタ ◆9月27日(火) 出張ラビットクラブ 外国籍の親子のための集まりの場 子 10名/大人 10名 計 20名 ◆10月6日(木) すこやか歯の支援事業 川崎区役所保健福祉センターとの連携事業 子 11名/大人 11名 計 22名 ◆10月11日(火) 保育所等入所説明会 2017年度の保育園入所に関する説明会 子 8名/大人 6名 計 14名 ふれあい館の「翻訳および通訳バンク事業」と連携し、通訳派遣や翻訳支援を行った。 また利用している保護者に「通訳」や「翻訳」をするボランティア側として登録を促した。
--

7 1年を振り返って

今年度は、例年に比べ外国につながるママたちの居場所になっているな、と感じる場面が多かった。みんなでお昼ご飯を食べ、支援センターに遊びに来ている他のお母さんや子どもたちと、子育ての情報交換をしたり触れ合う姿がみられ、とてもいい雰囲気だった。サポートスタッフとの信頼関係の中で、子育て相談につながるケースも多々あり、場合によっては地域の保健師と連携し支援をした。今後は、プログラムの講師をしてもらうなど活躍してもらえるような場をもっと広げていきたい。また、子育てに不安を感じている親子の利用の際には、スタッフ同士情報を共有し様子をみながら、それぞれが相談対応を行うことができたので、このような体制を継続するよう再確認をした。 来年度は子育てをしている家族のニーズを敏感に汲み取り、もっと部屋作りやプログラム作りに反映をしていきたい。そして、子育て支援や子どもに関する研修にも参加をしさらに実践につなげ、どのような方でも気軽に気楽に子どもと遊びに来たり、休憩できる場であり、親と子の交流の場であることを今一度確認をし、より多くの方に利用してもらえるような支援センターを、協力し合い作っていきたい。
--